

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
南島原市	長野地区(長野集落)	平成26年1月	令和3年3月

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	136.6 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	74.9 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	38.7 ha
i うち後継者未定または不明の農業者の耕作面積の合計	36.6 ha
④地区内において今後中心経営体を引き受ける意向のある耕作面積の合計	2.5 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<p>アンケート結果によると、西有家町の縮小・離農したい耕作面積が32.9haに対し、拡大したい中心経営体の意向面積が2.35haと大幅に少なかった。新たな農地の受け手の確保が必要である。 長野地区は、地形的に山・谷が連続しており、地区内の中心経営体も施設農家が多く露地農家は少ないため、規模の拡大は難しい。後継者は少なく他地区からの入り作も多い。</p>
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>耕作条件の良い農地もあるので、他地区からの中心経営体の入り作により、農地の有効活用を継続していく。そのためにも、農地中間管理機構を活用した担い手への集積を目指す。</p>
--

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

<p>規模縮小や農業をリタイヤする農家に対しては、農地中間管理事業に誘導するように推進する。 現在、入り作が多いが将来的にも借りてもらえるような手立てを考えていく。地元での話合いの中で、基盤整備や農道整備に関する話が出れば、関係機関との話し合いを設け、営農環境の向上に取り組む。</p>
